

プログラム

※プログラムは今後変更の可能性があります。

1月21日(土)

○会長講演

「公衆衛生看護のソーシャルデザイン—人々と共にまちとくらしの未来を拓く」

大森 純子 (東北大学大学院 医学系研究科)

○基調講演

「新しい公衆衛生戦略の展望—健康長寿社会を実現する」

辻 一郎 氏 (東北大学大学院 医学系研究科)

○教育講演 I

「住民と共に未来を拓く保健師の道しるべ」

奥田 博子 氏 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

○シンポジウム I

「コミュニティの力量形成—多様な関係者との協働」

佐藤 晃子 氏 (仙台市精神保健福祉総合センター)

佐野 ゆり 氏 (仙台市太白区家庭健康課)

中村 仁 氏 (つるがやリフレッシュ倶楽部)

木村 ミカナ 氏 (仙台市健康福祉局 介護予防推進室)

○ソーシャルデザインセミナー I

「復興公営住宅にコミュニティをつくる—望みと知恵の共有」

後藤 純 氏 (東京大学 高齢社会総合研究機構)

○会員集会

○懇親会

1月22日(日)

○特別シンポジウム

「地域社会の未来を拓く英略—生きる力を育み支える」

生きる力を育むということ 大場 エミ 氏 (恩賜財団母子愛育会)

未来を育てる家庭と学校 荒木田 美香子氏 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)

未来を育てる学校と地域 数見 隆生 氏 (東北福祉大学 総合福祉学部)

生きる力を支える地域社会 反町 吉秀 氏 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺総合対策推進センター地域連携推進室)

○教育講演 II

「住民と共にまちの未来を描く地域診断法」

鵜飼 修 氏 (滋賀県立大学 地域共生センター)

○ソーシャルデザインセミナー II、III

「住民と共につくる放射線防護文化」

折田 真紀子 氏 (長崎大学川内村復興推進拠点)

「コミュニティの包容力をつくる—居場所づくり・出番づくり」

山屋 理恵 氏 (特定非営利法人インクルいわて)

○シンポジウム II

「東日本大震災から学んだ地域保健活動—住民との協働こそ活動の核」

佐藤 由理 氏 (宮城県女川町健康福祉課)

岩瀬 美津枝 氏 (宮城県北部保健福祉事務所)

宇田 英典 氏 (鹿児島県保健福祉部 (兼) 鹿児島地域振興局保健福祉環境部 (兼) 伊集院保健所)

○市民公開講座

「元気はつらつ! ロコモティブシンドローム予防体操」

鈴木 玲子 氏 (東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター)、元気塾の皆さん (市民サークル)

両日共通

一般演題 (示説)、ワークショップ、共催セミナー、企業展示

特別展示 「コミュニティプランナー事業」 宮城大学、「沿岸部の看護職の活動」 宮城県看護協会

一般演題募集・ワークショップ募集要項

一般演題・ワークショップ 共通事項

1. 応募資格

- ・ 氏名を掲載する方は全員、開催日時時点で本学会の会員であることが必要です。
- ・ 筆頭者の方は、演題登録前に必ず共同発表者に本学会入会への同意を得てください（学術集会の参加費とは別に、学会の年会費が必要となります）。
- ・ 非会員の方は、演題登録期限までに入会手続きを済ませてください。入会手続きについては学会 Web サイト (<http://plaza.umin.ac.jp/~JAPHN/>) の「入退会案内」をご参照ください。
- ・ 筆頭者となれるのは、「一般演題 1 題」と「ワークショップ 1 題」の最大 2 題です。ただし、複数演題・ワークショップの共同発表者となることは差し支えありません。

2. 申込期間および方法

申込期間 2016 年 7 月 1 日 (金) ～9 月 30 日 (金)

- ・ 学術集会 Web サイトから、オンラインにてお申し込みください。
- ・ ネットワーク上のトラブルなどにより申込ができなかった場合でも、その責は負いません。締切直前の申込は避け、なるべくお早目にお申込ください。
- ・ 発表者は筆頭者、共同発表者共に学会員であることが必要ですが、入会手続き中・会員番号不明の場合も申込が可能です（画面の指示に従ってください。なお、非会員の方は必ず期間内に入会手続きを完了してください）。
- ・ 抄録本文は、一般演題、ワークショップともに 800 文字以内でご作成ください。必ず倫理的配慮をご記入ください。その他の詳細は Web サイトでご確認ください。
- ・ お申込後にお知らせする登録番号とパスワードを利用することで、申込期間中は何度でも修正が可能です。

3. 査読および通知

- ・ 内容、抄録の構成、研究倫理の適切性等の観点で査読を行い、採否をお知らせします。
- ・ 査読結果は 10 月 24 日までに E-mail でお知らせします。また、Web サイトでも個別に確認できるようにいたします。修正が必要な場合は 10 月末までに修正して頂く予定です。
- ・ 発表日時や会場等は、11～12 月頃に E-mail および学術集会ホームページにてご案内します。

一般演題について

- ・ 本学術集会では、示説（ポスター発表）のみ募集します。
- ・ 1 演題あたりの発表時間は 5 分、質疑 2 分の予定です。
- ・ 演題は、発表時点で未発表のものに限ります。
- ・ 希望する発表領域を第 2 希望まで選択して頂きますが、調整の結果ご希望通りにならない場合がありますことをご了承ください。領域分類は Web サイトに掲載します。

<優秀ポスター賞の表彰について>

- ・ 当日、優秀ポスター賞を選定します。選定基準は Web サイトに掲載します。
- ・ 表彰演題の筆頭者には後日ご連絡の上、筆頭者および共同発表者に表彰状をお送りします。

ワークショップについて

- ・ 本学術集会におけるワークショップは、発表者が設定した公衆衛生看護のテーマについて、参加者との見交換を通じて、理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。

- ・ ワークショップは1 枠 70 分です。時間厳守で運営してください。
- ・ 運営・進行は、すべて申込者にお任せします。
- ・ 会場はシアター形式で、利用できる物品は、マイク、ホワイトボード、机数台です。プロジェクター・スクリーンは 3,000 円にて貸出します (PC はご持参ください)。その他の物品レンタルについてはご相談ください。
- ・ 会場の準備、後片づけ等は、代表者が責任を持って行ってください。前後のワークショップとの入れ替えがスムーズになるようご協力をお願いします。

学術集会の参加申込について

1. 参加費

種別	事前参加申込※	当日受付	懇親会
会員	8,000 円	9,000 円	5,000 円
非会員	9,000 円	10,000 円	
学生 (院生除く)	3,000 円	3,000 円	

※10/31 までにオンライン申込および入金までされたものを事前参加申込として扱います。
入金が期日を越えた場合は当日受付の扱いとして、差額の参加費を頂きます。

2. 事前参加申込期間および方法

事前参加申込期間 2016 年 7 月 1 日 (金) ~10 月 31 日 (月)

- 1) 学術集会 Web サイトから、オンラインにてお申し込みください。
- 2) 自動返信メールにて、合計金額と入金先口座番号、登録番号が通知されます。
- 3) ゆうちょ銀行の青い枠の払込取扱票を利用して上記口座へ合計額を入金してください。
(会員には専用の払込取扱票を送付します)

お願い

- ・ 入金時、払込取扱票の通信欄には必ず登録番号を記入してください。
- ・ 期間内に入金も完了してください。
- ・ ネットワーク上のトラブルなどにより申込ができなかった場合でも、その責は負いません。締切直前の申込は避け、なるべくお早目にお申込ください。
- ・ 参加案内の詳細は開催 1 か月前までに Web サイトに掲載します。ご参照ください。

3. 乳幼児を同伴する場合のご案内

- ・ Web サイトにて託児可能な施設をご案内しています (※ただし日曜日は託児不可)。
- ・ 学術集会当日は、会場施設内に授乳や休憩に利用できる部屋をご用意します。

4. 宿泊およびエクスカージョンのご案内

- ・ Web サイトにて、宿泊およびエクスカージョンをご案内します。ぜひご利用ください。

●学術集会の参加・演題登録等に関するお問い合わせ

第 5 回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21 (株) ユピア内 担当: 国井
FAX 050-3737-7331 E-Mail japhn5@yupia.net

●学会入会・学会年会費に関するお問い合わせ

日本公衆衛生看護学会 事務支局
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町 146 中西印刷 (株) 内
TEL 075-415-3661 FAX 075-415-3662 E-Mail japhn@nacos.com
学会 Web サイト <http://plaza.umin.ac.jp/~JAPHN/>